

## 令和元年10月近江八幡市教育委員会定例会(要旨)

1. 開催日時 令和元年10月23日(水)9時30分～11時40分

2. 開催場所 近江八幡市学校給食センター2階会議室

3. 出席委員

教育長	日岡 昇
教育長職務代理者	久家 昌代
委員	八耳 哲也
委員	安倍 映子
委員	西田 佳成

### 4. 事務局出席者

教育部長	小林 一代
教育部次長兼学校教育課長	野瀬 準子
教育総務課長	秋山 直人
生涯学習課長	村井 孝一郎
近江八幡図書館長兼安土図書館長	奥村 恭代
学校給食センター長	嶋川 明夫
生涯スポーツ課長	太田 明文
総合政策部次長兼文化観光課長	濱本 浩
子ども健康部次長兼幼児課長	木村 辰之
子ども支援課長	川端 あゆみ
幼児課主幹	北川 美由紀
子ども支援課長補佐	橋本 安史
生涯学習課長補佐	白寄 治
学校教育課長補佐	伊崎 佐知子
教育総務課長補佐	畑 明宏
教育総務課副主幹	澤 千央

5. 会議を傍聴した者 0人

6. 会議次第

## 【議案】

- 議第53号 近江八幡市教育委員会表彰規程の一部改正について
- 議第54号 平成31(令和元)年度教育費に関する12月補正予算の要求について  
(非公開)

## 【協議事項】

- 令和2年度重点課題及び取組について
- 近江八幡市就学援助費給付要綱に係る別途様式の変更について
- 放課後子ども総合プランの策定について
- 安土コミュニティセンター教育相談室閉室および安土適応教室『いずみ』閉室について

## 【報告事項】

- 「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」キャッチコピーについて
- 「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」リーフレット配布について
- 森林環境学習(やまのこ)事業について
- 令和2年度通学区域弾力化制度利用者について(一斉募集分)
- 令和2年度幼稚園3歳児1学期給食開始について
- 平成31(令和元)年度第1回近江八幡市伝統的建造物群保存地区保存審議会の答申について

## 7. 議事の経過

### (1) 開会(日程確認)

- ・教育長が10月定例会の開会を宣言
- ・出席委員定数の確認
- ・非公開について  
議第54号 「平成31(令和元)年度教育費に関する12月補正予算の要求について」  
非公開とすることの提案 **非公開**

### (2) 前回の会議録の承認

- 9月定例会の会議録 **承認**

### (3) 教育長挨拶および報告

- ・10月に入っていくつかの台風が押し寄せてきた。特に台風19号は本市を含む西日本には大した影響はなかったが、多くの方が犠牲になられた。施設・学校等において、ボランティアの応援募金という形で支援している。今後も台風が来るので、教育委員に報告するようなことがあればさせていただく。
- ・就学前の運動会が先週終了し、学区の運動会も無事に終了した。10月には竜巻が発生し、馬淵幼稚園のテントが飛ぶ被害があったが、子どもたちへの被害はなかった。
- ・神戸市の教員の教員仲間でいじめ問題が起こった。現在、調査中だが、管理職も知っていたというような話もあり、近江八幡市でも管理職も含め、各校においても困っている先

生があれば窓口を設けるようにもう一度指示した。

・市内ではマダニにかまれて感染し、日本紅斑熱という病気で亡くなられた方がいる。子どもたちの校外での活動については長袖長ズボンで対応するよう指示し、文書を出したが、届いていない学校もあるということなので、改めて学校に連絡する。

・県立学校で試験中にトイレに行ったら減点。彦根でもあったのこと。小中学校でそのようなことはないが、本来あるべきではないことである。

・教育委員の都市連協の交流会が野洲・守山市で行われた。その中で、人事訪問で訪問をしているのは13市のうち、近江八幡市と湖南市だけであった。他は事務局に来てもらっているとのことで、学校へは訪問していない。現場のにおいを感じる事が重要で、引き続き近江八幡市は続けていく。

・校長面談を行った。人事評価で教頭先生をしっかりと把握しきれていない先生もおられた。普段の仕事の中で見極めてほしいということをお伝えした。

・各学区で文化祭が行われる。各中学校等でも文化祭や音楽会が行われる。地域、学校の子どもたちの活躍、頑張りを見てもらいたい。また、その中で教育のレベルを見てもらいたい。

・安土小学校のボーリング調査が昨日から始まった。高架の近くなのでまた確認してください。

#### (4) 議事

##### ◆議第 53 号「近江八幡市教育委員会表彰規程の一部改正について」

##### 【事務局説明…教育総務課】

2年に一度行われる教育委員会表彰の規程について、昨年度は読み替えるという形をとったが、その時に規程を見直すべきとの判断により今年度改正。

##### 改正内容

平成22年度から学区公民館は学区コミュニティセンターに「公民館長」は「センター長」に組織構成が変更された。これに伴い、センター長は主に施設の管理運営を行うため、表彰規定第1条の目的、第2条の表彰の対象者からは外れると判断し、「公民館館長又は」の文言を削除する。ただし、「センター長」として、表彰規定の目的に該当し、著しい功績が認められた時は顕彰する場合もある。その他、同時に、字句等の整理を行う。

##### 【質 疑】

○八耳委員

第5条(4)「資料館長」として特定される理由は。

○教育総務課

確認し、報告する。

○八耳委員

第8条中「行為を行った」は言葉が重なっているのではないか。

○教育総務課

総務課文書法規と協議し、必要があれば修正する。

### 【採決】

質問2点を確認し、必要であれば修正することで、可決。

## ◆議第 54 号「平成31(令和元)年度教育費に関する12月補正予算の要求について」

### <非公開>

各課から説明。予算要求については、承認。

## ●協議事項

### ◎令和2年度重点課題及び取組について

各課から説明。

#### 【教育総務課】

資料に基づき、5点説明。

事業の内部評価、外部評価時のご指摘、コメントを踏まえ、また委員からのご提案も含め、ハードが中心となるが、子どもの環境、先生の執務環境、学校の建物等、教育環境の整備を良くしていきたいというものを上げている。

- ・小学校教科書改訂に伴う教育環境の整備
- ・中学校パソコン教室の整備
- ・学校の非構造部材 耐震化の促進
- ・学校の長寿命化推進
- ・学校における働き方改革への対応

#### 【学校教育課】

資料に基づき2点説明。

人の配置を増強していきたいと考えているが、ここでは、教育の中身が元気になるものを上げている。

- ・新学習指導要領前面実施により、プログラミング教育、外国語教育の充実、協働的な学びの推進のためのICT活用
- ・読書活動の推進と、学校図書館の授業への利活用を図り、読解力等を育てる。

#### 【生涯学習課】

資料に基づき、2点説明。

- ・ふるさと学習の充実について

- ・コミュニティ・スクールの充実について

#### 【学校給食センター】

資料に基づき、3点説明。

- ・沖島小学校のセンター調理方式への移行
- ・学校給食費の公会計化について
- ・旧学校給食センターの解体について

#### 【図書館】

資料に基づき、3点説明。

- ・図書館除籍本リサイクル事業
- ・図書館利用に障がいがある方へのサービス
- ・全域サービスの取組  
(様々な助成金に申請し移動図書館車が導入できるよう検討している)

#### 【生涯スポーツ課】

資料に基づき、3点説明。

オリンピック、国体等の関係もあり、スポーツに注目が集まっている。

- ・生涯を通じた健康づくり、運動・身体活動についての普及啓発の充実
- ・ウォーキングモデルコースの設定及び周知
- ・障がい者対象のスポーツ教室の開催

#### 【幼児課】

資料に基づき、3点説明。

- ・「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」運動の展開に向けての就学前施設の絵本環境の充実
- ・遊びの場の保障・子育て支援・食育の推進に向けた幼稚園の3歳児給食開始時期の変更
- ・就学前教育・保育の充実 職員の質の向上

#### 【文化観光課】

資料に基づき、1点説明。

- ・「近江八幡市文化財保存活用地域計画」の策定

#### 【質疑】

○教育長

資料に日程は書いていないが、来年度にやりきる予定で進めるということでしょうか。

○教育総務課

予算が伴うものについては、予算要求はする。予算がつかなければ出来ないものもある

る。

### 教育総務課

#### ○八耳委員

教育総務課の「時間外の自動音声電話の整備」について、時間外の緊急・非常時電話の受け皿はどうなるのか。保護者がどうしても連絡を取らないといけない場合など。

#### ○教育総務課

家庭との緊急時にどのように対応するのかについては、留守番電話にかかわらず、学校で体制を整えておくべき。

#### ○八耳委員

ICT整備計画の順次実行のために来年度重点取組の中に入れる必要はないのか。

#### ○教育総務課

校務支援系を導入し、次に学習系を導入していく。その方向性は変わらないが、プランどおり進めるとなると、かなりの予算となる。最終的には、文部科学省が言うように3クラスに1クラス分の端末を導入できるようにとは考えているが、この厳しい予算の中で、段階的に進めるのか、一気に導入するのかという問題もあり、来年度は、中学校において教科で使用するため、パソコン教室のパソコンを更新していくということを一番に検討させていただいた。

### 学校教育課

#### ○八耳委員

学校教育は「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」運動の展開のためにも、これを重点取組に入れる必要はないのか。また、現場で人が足りないのか、何が足りないのか。近江八幡市ならではもの、なにか目玉的なものはないのか。

#### ○学校教育課

「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」運動は、学校だけでなく市民レベルの運動にということで総合教育会議でもご意見をいただいているので、各校でも地区別懇談会のテーマにしたり、運動会やまちづくり協議会などに出向くときには発信していただいている。そういったベースでの運動はこれまで通り進めていきたい。

学校教育課として読書の点について特にスポットを当てて運動を進めていきたいと考えている。

人の配置については、一番重要であると考え。どのような人がどの学校に必要なか課内で精査した上で、学校として、よい配置となるよう協議していく。

教育総務課が回答した自動音声電話は、先行実施している他市から、苦情等問題は生じていないと聞いている。必要に応じ市の教育委員会事務局へ、真の緊急時は警察消防への連絡体制など実施に向けては校長等とも十分協議し、詳細は詰めていきたい。

## 学校給食センター

### ○八耳委員

沖島小学校のセンター調理方式へ移行することによって給食をどのように運ぶのか等教えてほしい。

### ○学校給食センター

給食センターで調理したものを堀切港へ運び、沖島小学校へ運び、学校で配膳してもらう。

## 図書館

### ○八耳委員

駐車場の具体的な場所の確保の見通しはあるのか。

### ○図書館

現状は、図書館敷地内33台、(株)シキボウの駐車場(使用されていない時)36台、観光物産協会が使用しない時のみ借用している駐車場が20台、計89台。

近隣に土地がないのが、問題。探してはいるがなかなか図書館の駐車場としてまとまった台数を借りられる場所はない。駐車場については引き続き探していく。

現状では、来てもらうのを待つのではなく、移動図書館車で出て行くしか方法はないため、あらゆる補助金、助成金等に申請し、移動図書館車の導入を検討している。

## 幼児課

### ○八耳委員

武佐こども園の施設の状況があまりよくないと園訪問で感じたので、市長に視察してもらうなど他の施設も含めて、施設の改善に向けて前向きな検討はできないか。

### ○幼児課

就学前施設はどこも古い。長寿命化計画等を立てたこともあるため、今後どのようにしていくかについては、協議していく中で総合的に検討させていただきたい。

### ○安倍委員

各課とも大変良い方向性を示していただいた。

2点だけ。1点目。先日、障がいのある子どもの保護者会に参加した。その中で、事業はいっぱいして貰いありがたいが、なかなか行けない。そういった声にも対応できるよう、隙間のサービスをお願いしたい。

2点目。就学前教育の中で、キャリアステージに応じた研修、経験年数に応じた研修を行うとあるが、管理職級だけでなく次のステージの研修も考えてはどうか。

### ○幼児課

管理職の研修とは別のものとして、そちらの研修も実施していきたいと考えている。

### ○教育長

各課ともに説明したことが、しっかりと取り組んでいけるように、予算のついているものについては、予算がつき次第になるが、実施できるようお願いしたい。

(休憩10分)

## ◎近江八幡市就学援助費給付要綱に係る別途様式の変更について

### 【事務局報告…学校教育課】

資料に基づき説明。

入学前支給を現在実施している。現在は、児童生徒1名につき1枚の提出が必要。

課題として兄弟がいる場合に手間や漏れが生じている。今回、小学校、中学校別に世帯単位で申請をする形としたい。

変更箇所としては、該当児童氏名欄、税の減免や手当の支給等に関する欄、委任状及び承諾書欄、保護者が記入する欄。また、世帯の状況欄の年齢欄を削除とし、保護者に記入してもらっ箇所は全て表面とした。

### 【質疑】

#### ○教育長

できるだけ保護者負担を減らすという趣旨での改正だと思う。

担当民生児童委員の記載欄は使用しているのか。

#### ○学校教育課

ほとんど使用はしていないが、何かの時に使えるよう残しておきたいと考える。

学籍の確認もあるので、校長欄は必ず記載してもらっている。

#### ○安倍委員

入学までにもらえるのですね。

#### ○教育長

はい。

#### ○八耳委員

小・中学校合わせて1枚でよいのか。別々か。

#### ○学校教育課

学校単位となるので、別々の申請をしてもらう。

## ◎放課後子ども総合プランの策定について

### 【事務局報告…生涯学習課】

「放課後子ども教室事業」について

①事業のねらい



## ②近江八幡市の現状

③今後のスケジュール を資料に基づき説明。

### ①事業のねらい

現在、文部科学省は「地域と学校の連携・協働の推進」を進めるために、コミュニティ・スクール事業と地域学校協働本部事業を一体的に推進している。近江八幡市では、子ども支援課を中心に「第二期近江八幡市子ども・子育て支援事業計画」の策定を進めている。その中に、「放課後子ども総合プラン」が重点項目として位置づけられており、令和2年度中の策定を計画している。

「放課後子ども総合プラン」というのは、この中の「放課後子ども教室」と「放課後児童クラブ」を一体的または連携的に整備していこうとするもの。

### ②近江八幡市の現状

市内には現在、5つの放課後子ども教室が設置されている。体制や内容、成果や課題などについては、それぞれ、学校や地域の特色が表れている。

### ③今後のスケジュールと具体的な取組

放課後子ども教室を設置するためには、各学区での人材発掘や活動計画などを丁寧に行う必要があるため、学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとなった校園は、その翌年に放課後子ども教室の設置についての協議を始め、次の年に放課後子ども教室を設置する計画としている。そのための具体的な取組は、資料のとおり。

## 【質疑】

### ○安倍委員

放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体整備とはどのようなイメージか。

### ○生涯学習課

放課後子ども教室に放課後児童クラブの子どもも参加してもらってもよいというもの。

### ○教育長

放課後子ども教室と学童の場所がかなり離れていたらどうなるのか。

### ○子ども支援課

現在、親が就業している場合に限り、放課後児童クラブを利用している。放課後児童クラブの子どもたちは現在1,166名、就学児童の約26%が利用している。これら放課後児童クラブの子どもたちも含むすべての子どもたちを対象にしたプランの策定が求められているため、令和2年度中にプラン策定の検討・策定、令和3年度からは運用について進捗状況の管理に努めていきたい。

### ○教育長

すべての子どもたちが学習する場所ということで、中身的にはふるさと学習等も含まれる。

○八耳委員

指導員の人材が不足している点に加え、拡大すれば、さらに課題が生じるのではないかと。学校施設の利用というのであれば、そのまま利用していくのか改修して対応していくのか。民間の利用との課題はないのか。

○子ども支援課

放課後子ども総合プランを具体的にどのように運営していくのか、各小学校区によっても、それぞれの地区によっても変わる。地域性とともにもどいう子ども像を理想とするのか、今の活動を広げるのにどのような方策があるのかも含め、学校運営協議会を中心に検討していただきたいと考えている。

○教育長

放課後子ども教室は登録したらよいのか。急に行ってもよいのか。

○生涯学習課

募集をかけて、申込者のみを受け入れている。

○教育長

急に受け入れてもらいたい場合、現状では無理だが、そのような受け入れの手法も含め学校運営協議会で検討してもらおうということによいか。

学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとなったが1年目。必ずこの件については論議してもらおうことが2年目。実施が3年目ということで、来年度は受け入れることはできないということによいか。

○生涯学習課

はい。

○久家委員

放課後子ども教室は無料か。

○生涯学習課

実費は必要だが、無料。

◎安土コミュニティセンター教育相談室閉室および安土適応教室『いずみ』閉室について

【事務局報告…学校教育課】

資料に基づき説明。

安土コミュニティセンター教育相談室の経緯としては、平成22年の合併に伴い従来のマナビィでしていた相談室に加えて安土コミュニティセンターに教育相談室を開室、週に1度、教育相談員1名の配置を行ってきた。合併後、旧安土町在住の方を中心に利用していただいていたが、平成30年度は相談件数：来所1件、電話1件の計2件。今年度も10月10日現在で相談件数：来所1件、電話1件と利用が少ない。現状としては、安土町にお住まいの方もマナビィの相談室を利用いただいているため、今年度をもって安土コミュニティセンターの教育相談室については閉室を考えていきたい。

また、適応指導教室「よしぶえ」「いずみ」についても、合併年にはそれぞれ開室し、2名

ずつの指導員を配置していたが、「いずみ」の開室は1年間で、その後は安土在住の子どもたちも「よしぶえ」を利用している。今年度安土から通っていただいている1名の子どもについても「よしぶえ」を利用している。

これらの現状を踏まえ、適応指導教室「いずみ」についても閉室を考えている。「よしぶえ」やマナビイについては、複数対応が必要なことも増えているので、そちらの充実に向けても考えていきたい。

○教育長

利用者がいないということで適応指導教室「よしぶえ」に統一していく方向で進めてください。

## ●報告事項

### ◎「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」キャッチコピーについて

【事務局報告…教育総務課】 資料なし。

小中学生 1,534 名の応募の中から八幡西中学校の矢掛さんのキャッチコピーを採用。

「元気と笑顔の合言葉」

10月4日の八幡西中の文化祭時に教育長から表彰をもらった。

啓発に向けて今後どのようにしていくのかが大切である。現在考えていることとしては、

・「にこまる」の絵のところにキャッチコピーを入れていく。

・教育委員会事務局文書にもキャッチコピー入りの「にこまる」を掲載する。

学校から保護者等への発送文書にもキャッチコピー入りの「にこまる」を掲載してもらうよう指示する。

・教育委員会事務局の名札も変更する。

委員からも啓発案があればお願いしたい。

### 【意見】

○安倍委員

「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」のTシャツを着ていったときに地域の反応が良かった。人の集まるときに啓発することが非常に効果的だと感じた。

○教育長

水郷の里マラソンでも啓発できるよう、マラソンのジャンパーにも利用すればよいのではないか。

○生涯スポーツ課

ジャンパーを新調する際には、キャッチコピーを入れることを検討していく。

### ◎「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」リーフレット配布について

【事務局報告…学校教育課】

資料に基づき説明。

就学前から中学校までの保護者に直接配布する。

総合教育会議でのご意見にもあったように、一律に配布するのではなく、しんどいご家庭に直接届くように、例えば朝食が食べられない、どうしても夜更かしをしてしまうなど個別に話を聞くことによって保護者とともに生活について一緒に考え、家庭の生活を含めた支援を考えていくという形で配布していきたい。

市民にも届くようHPやコミセンなどできるだけ広く配布、発信をしていきたい。

また、内容は変更しないが、説明的、分析的になっている部分や分かりにくい文言、言葉については、再度検討、修正し、発信していきたい。

### 【意見】

#### ○教育長

この紙質、この形態では保護者が読みたくなるかどうかと思う。読んでもらえるようにしないといけないのではないかな。パッと一目で見てわかるようにすると効果が高いのではないかな。

#### ○安倍委員

結果が一番上に書いてあるのはとても分かりやすいと思うが、それが目に飛び込んでくるかというところではないかもしれないので、もう少し字を大きくするとか、強調文字にするなど見せ方を工夫するとよいのではないかな。

#### ○学校教育課

グラフの色や見せ方など改良をさせていただく。

#### ○教育長

せっかくのカラー刷りなので、視覚的な面で検討していただけるようであれば検討していただきたい。

#### ○久家委員

三者面談等で資料を保護者に配布されても、「封筒の中にこのような資料が入っています。」で終わってしまうので、きちんと説明して配布してもらわないと思いは届かないと思う。

#### ○学校教育課

課題のあるしんどい家庭などについては、きちんと説明して配布していけるよう校長会等でもお願いしていきたい。

## ◎森林環境学習(やまのこ)事業について

### 【事務局報告…学校教育課】

資料に基づき説明。

現在、市内の小学4年生が沖島をフィールドに森林環境学習を行っている。以前から行われてきた沖島体験要素を残しつつ、沖島のケンケン山を中心に県の事業で県の予算をいただきながら、実施。

平成 28 年度まではケンケン山の登り口から沖島小まで尾根をつたうコースを整備し、豊かな学習ができていたが、山の整備が日常的に行えず、近年の台風等の影響もあり山が荒れて難しい状況が続いていた。平成 28～30 年度にも本市の農村整備課、大滝山林事務所にも協力をいただき、大きな整備等も行ったが、昨年の秋の台風 21 号により、大きな落石や倒木があり、一部のルートしか使えない状況である。今年度もルートを変更して行ったが、倒木やスズメバチの危険性もあり、児童の安全を確保するため次年度からは沖島での環境学習を高取山に当面変更したい。今後は、沖島を整備する計画もあるので、沖島へフィールドを戻して学習できるかどうか状況を見ながら検討していきたい。

#### 【意見】

○教育長

一旦、沖島から離れるが、一定仕方ないと思われる

### ◎令和2年度通学区域弾力化制度利用者について(一斉募集分)

#### 【事務局報告…幼児課】

資料に基づき報告。

資料の訂正

表中一番右欄は 2019 年度 → 2020 年度

表中 2020 年度の岡山幼稚園 4 歳児 → 岡山幼稚園 5 歳児

一斉募集を終えての通学区域弾力化制度利用者の申し込み状況の説明。  
弾力化制度の対象は馬淵幼稚園、老蘇こども園、武佐こども園(短時部)。  
馬淵幼稚園と武佐こども園は新たな弾力化制度利用者はなし。老蘇こども園1名となっている。

昨年度の新規利用の6名と比べると、どの園も利用が大幅に減少している。  
これにより、令和2年度の全体的な弾力化制度利用者は、馬淵幼稚園1名、老蘇こども園(短時部)7名、武佐こども園(短時部)2名、計10名となっている。

### ◎令和2年度幼稚園3歳児1学期給食開始について

#### 【事務局報告…幼児課】

資料に基づき報告。

これまでの定例会でも進捗状況を報告したが、今回は、開始にあたっての4点の課題解決に向けて、特に②「献立及び使用器具等についての検討をする。」について、幼稚園の3歳児から安心安全に食べるために具材をどのように小さくして提供するかということが課題として残っていた。課題となっていた危険性や消毒面等、様々なことがクリアできるものとして、へらを利用することが決定したので、令和2年度の当初予算に要求し、4月からの使用に向けて進めていく。④「人員確保を検討する。」についても、令和2年度当初予算に要求した。

**【意見】**

○教育長

へらは子どもたちが使うものか。

○幼児課

職員が細かく切るために使うもの。イメージとしてはお好み焼きで使用するへらのようなものだが、先は金属ではなく硬質プラスチック製。

○教育長

機会があれば現物を見せてほしい。

**◎平成31(令和元)年度第1回近江八幡市伝統的建造物群保存地区保存審議会の答申について**

**【事務局報告…文化観光課】**

資料に基づき報告。

8月28日の近江八幡市伝統的建造物群保存地区保存審議会で資料のとおり3点諮問し、9月18日付教育長宛に答申が出された。

1・2は伝建区域内の建築物の修理・修景に関わるもの。現行の計画通り進めていくが、2については、付帯意見があるため、付帯意見を含めて対応していく。

3の独自条例は、伝建区域内の包括的な緩和、個々の物件に関する緩和の二面性がある。今後進めていきたいと考えているのは、後者の個別案件のもの。個別案件の対象建築物については、現在相続手続き中。相続手続きの完了と同時に、条例を適用し、修理・修景に取り掛かることができる。現時点のスケジュールとしては、年内に草案を作成し、3月議会に提案も考えているが、緊急性はないため、時期よりも内容を詳細に検討していきたい。

**8. その他**

**今後のスケジュール**

**【事務局…教育総務課】**

次回定例会開催場所、時間の確認。

**9. 閉会**

教育長が10月定例会の閉会を宣言